

信州大学医学部附属病院 呼吸器外科および産科婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年10月1日

「AI(Artificial intelligence)技術による悪性中皮腫の客観的診断指標構築」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4892
研究課題名	AI(Artificial intelligence)技術による悪性中皮腫の客観的診断指標構築
所属(診療科等)	医学部保健学科
研究責任者(職名)	氏名:木村文一(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認日~2025年9月28日
研究の意義、目的	AI技術を用いて悪性中皮腫の客観的な診断支援技術開発やリスク因子であるアスベスト小体の検出システムの構築を行うことで、悪性中皮腫を早期に発見することを目的とする。
対象となる患者さん	1992年10月1日から2020年9月27日の期間に共同研究機関および信州大学医学部附属病院で悪性中皮腫および卵巣腫瘍について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、検査結果など／組織など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	郵送、電子的配信もしくは直接授受。 標本の場合、専用ケースに入れて郵送もしくは直接授受を行う。 画像の場合、ハードディスクもしくはUSBメモリに記録して郵送もしくは電子的配信。
研究方法	細胞診検査標本画像から、悪性中皮腫の工学的画像特徴をとりだし、AI技術を利用して、悪性中皮腫を判別する。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	北里大学(責任者:佐藤之俊)、東京工業大学(責任者:山口雅浩)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:木村文一
問い合わせ先	氏名(所属・職名):医学部保健学科 木村文一 電話:0263-37-3503

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。